



日本フリースタイルメソジスト教団
町田福音キリスト教会

月報「ぶどうの木」

2023年3月号

「大祭司」(『エマオの道で』より)

秋田郁美

このように聖であり、罪なく、汚れなく、罪人から離され、もろもろの天よりも高くされている大祭司こそ、わたしたちにとって必要な方なのです。この方は、ほかの大祭司たちのように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために毎日いけにえを献げる必要はありません。というのは、このいけにえはただ一度、御自身を献げることによって、成し遂げられたからです。

ヘブライ人への手紙 7:26, 27

レントの期間を過ごしています。『エマオの道で』(デニス・F・キンロー著)の文章から、イエスさまが私たちの「大祭司」となってくださったことを理解しましょう。

旧約聖書における大祭司の役割を理解すると、贖い主としてのキリストの役割もより深く理解できます。大祭司は聖なる神と汚れた人間の仲保者でした。昔と今と神のきよさが変わることも人間の罪深さが減ることもありません。ですから今日においても仲保者の存在は必要ですが、今日では地上の祭司たちによってなされることはもはやありません。その理由はイスラエルの大祭司は自分のためにまず犠牲をささげましたが、そうする必要のない偉大なる大祭司が今は私たちと共におられるからです。その大祭司は罪のないキリスト・イエスです。

祭司職について学ぶべき第二の点は、神は軽々しく近寄ることのできる方ではないということです。旧約聖書の時代は人々を守るために神ご自身と人間との間に隔たりを設けられました。特別な部族の一握りの人たちだけが、主の家で礼拝をささげることができました。その部族の中の たった一家族だけに犠牲をささげることが許されていました。さらにこの家族のうち、ただ一人だけが至聖所の幕屋の最奥へ入ることが許されていました。しかも年に一度だけでした。また大祭司は人々の罪を贖う前に自分自身の罪を贖う必要がありました。もしそれを怠るようなことがあれば、大祭司自身の支払う代償は死でした。

神のきよさは純粹で変わることはありませんが、今を生きる私たちは神に近づくために、もはや自分も罪の中にあるような大祭司の手を借りる必要はありません。私たちはイエスを通して父なる神に近づくことができます。イエスがご自身の死によって神殿の垂れ幕を破り、すべての人が大胆に神に近づくことができるようにしてくださったのです。私たちは一人で神に近づくのでは ありません。キリストによって近づくのです。ですからそれは決して秩序のない図々しい大胆さであってはなりません。あくまでもキリストの贖いのわざによって開かれた尊いものです。私たちはユダヤ教の祭司制度にキリストの贖いのみわざがどのようなものであったのかを見ることができます。キリストは旧約の祭司職を廃棄してご自身がその祭司職を担われました。今日も私たちのためにその職をつかさどっておられます。ですから私たちはキリストにあって、はばかりことなく恵みの御座に近づこうではありませんか(ヘブル 四・16)。

3月役員会決定事項

- ・2 月度の経常会計・基金会計・建造物会計が承認された。
- ・3 月 13 日以降のマスク着用について、当面の間礼拝及び諸集会の際会堂内ではマスクを着用していただくことを決定した。
- ・献堂 10 周年記念動画を山田龍儀くんが編集作成してくれた。教会から龍儀くんにお礼として 5,000 円差し上げることを決定した。DVD 作成について検討する。
- ・6 月 25 日の礼拝にインマヌエル聖宣教会の副牧師高木暁子先生に来ていただき、ハープの演奏とお証しをしていただくことを依頼する。(受けていただけるかは未定)

2 月度の会計報告

経常会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

| | | | |
|----------------------------|---------|-----------------|---------|
| 月 定 献 金 | 194,000 | 牧 師 謝 儀 | 145,000 |
| 礼 拝 献 金 | 52,000 | 伝 道 費 | 26,580 |
| C S 献 金 | 500 | 礼 典 費 | 0 |
| 特 別 感 謝 献 金 | 18,000 | C S 補 助 | 500 |
| 祝 祭 献 金 | 0 | 火 災 保 険 料 | 0 |
| 雑 収 入 | 0 | 事 務 消 耗 費 | 6,846 |
| <月定献金> | | 水 道 光 熱 費 | 12,918 |
| 秋田家、池田(博)家、大槻姉、小倉姉、河合兄、岸田姉 | | 電 話 代 | 6,901 |
| 佐藤姉、長岡家、西村姉、三石家、山田家 | | 什 器 備 品 費 | 605 |
| <感謝献金> | | 教 団 負 担 金 | 0 |
| 小嶋姉、長岡姉 | | 謝 恩 金 負 担 金 | 0 |
| | | 対 外 献 金 | 13,000 |
| | | 慶 弔 ・ 接 待 費 | 0 |
| | | 研 修 費 | 0 |
| | | 基 金 繰 入 金 | 0 |
| | | 建 造 物 会 計 繰 入 金 | 5,000 |
| 収 入 小 計 | 264,500 | 支 出 小 計 | 217,350 |
| 前 月 繰 越 金 | 537,504 | 次 月 繰 越 金 | 584,654 |
| 合 計 | 802,004 | 合 計 | 802,004 |

教会基金会計 残高 4,720,000 円

報告: 山田正博

教会建造物会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

| | | | |
|-------------|--------|-----------|--------|
| 経 常 会 計 繰 入 | 5,000 | | |
| 収 入 小 計 | 5,000 | 支 出 合 計 | 0 |
| 前 月 繰 越 金 | 16,443 | 次 月 繰 越 金 | 21,433 |
| 合 計 | 21,443 | 合 計 | 21,433 |

報告: 秋田郁美



大祭司

